

「Honda WN7」が2026年iFデザインアワード最高賞「iFデザインアワードゴールド」を受賞

Hondaの電動モーターサイクル「Honda WN7（ホンダ ダブリュー・エヌ・セブン）」は、国際的に権威のあるデザインアワードのひとつである「iFデザインアワード[※]」のプロダクトデザイン部門において、最高賞となる「iFデザインアワードゴールド」を受賞しました。Hondaとして「iFデザインアワードゴールド」の受賞は初となります。

Honda WN7は、「風になる（Be the Wind）」をコンセプトに、カーボンニュートラル社会の実現を目指す取り組みの一環として開発されたHonda初のFUN領域向け電動ネイキッドモデルです。バッテリーケースを車体骨格として機能させる構造により、軽量でスペースレイアウトの自由度が高い車体を実現しました。また、最高出力は50kWで排気量600ccクラスのICE（内燃機関）車相当、最大トルクは100Nmで1000ccクラスのICE車に匹敵する性能を備えており、街中での発進・停止時や郊外でのクルージング時にも、ゆとりのある走行を可能にします。



Honda WN7

《デザインの特長》

「機能を研ぎ澄まし、本質を表現すること」を目指したデザインは、ライダーが触れるボディ部分をシームレスで滑らかな表面としながら、独創的で力強いシルエットを形成しています。シグネチャーライトには、特徴的な横一文字のデザインを取り入れています。カラーリングはブラックを基調に、ゴールドカラーの部品をアクセントとしています。

【受賞理由】

Honda WN7 は、これまでの ICE モデルで培ってきた知見や設計思想といった DNA と、電動モデルとしての明確なアイデンティティを見事に融合させている。Honda の伝統を大切にしながら、クリーンエネルギーならではの美しさを取り入れており、その融合は自然で、本物らしさを感じさせる。単なる部品の集合体を超えた独自のデザインと、電動モデルとしてのアイデンティティを評価した。

【株式会社本田技術研究所 常務取締役 デザインセンター担当 南 俊叙のコメント】

世界的なデザインアワードである iF デザインアワードのプロダクトデザイン部門で、「iF デザインアワードゴールド」を受賞することができました。「iF デザインアワードゴールド」は Honda として初の受賞となり、大変光栄に思います。これは、電動化の時代にふさわしい新しい価値“風のように自由に走る楽しさ”を、機能とデザインの両面から理解いただけた結果と考えています。これからも Honda は世の中に“驚きと感動”をもたらす新しい価値を創出し、「生活の可能性が広がる喜び」を提供し続けていきます。

Honda デザインアワード 受賞歴

<https://global.honda.jp/design/work/#award>

iF デザインサイト

<https://ifdesign.com/ja/winner-ranking/project/honda-wn7/740437>

※ iF デザインアワードは 1954 年に設立された、レッド・ドット・デザインアワードなどと並び国際的に権威のあるデザインアワードのひとつ。主催はドイツ・ハノーバーを拠点とする iF インターナショナルフォーラムデザイン。この賞は、「プロダクト」「パッケージ」「ブランディング&コミュニケーション」「インテリア建築」「コンセプト」「サービス&システム&プロセス」「建築」「ユーザーエクスペリエンス (UX)」「ユーザーインターフェース (UI)」の分野で構成されています